

# 完成、各地区の表情

島田製作所と時を同じくして、御殿場工場も完成、天竜工場、浜松・名古屋各センターも新設され、仙台・東京支店も改築され、ここに矢崎は国際水準価格の悲願の達成に一步近ずいたわけだが、それら各地の表情をお伝えしよう。

## 新人の教育を重点

弱電 三部門の確立

御殿場 金沢工場長

正に責任重大というところ場供給する。

御殿場にあっても、今後は、この六月一ばいで形を作り、七月から軌道にのせたい。現在魂を入れることが大切だ。みんなが力を入れてこそ国際水準の問題も打開出来るというのです。この点計器は、御殿場以上に技術の点、経費の点生産性の点で大変だろうと思う、御殿場工場についていえば、今後は三工場のタイミングを合せてやっていくことが大切だ。三つの工場が分れていても実は一つの工場であって、矢崎の弱電部門の確立と発展を促す以外はない。従って生産計画も三工場はより緊密にし、重点的に切斷とタイミナルをこの工場で受けもつ形になる。そして他の工

場を供給する。六月一ばいで形を作り、七月から軌道にのせたい。現在アメリカの機械待ちというところですが、またうちでは人材の養成の意味から、新入社、中堅クラス、役付者の各グループに分けて教育をやっているが、今は新入社の人々に重点を置いている。毎日職場別でおひる休みの十五分間くらいをあてている。

ともかく、各工場がどんな軌道にのってくれば正に一流会社といえるだろう。驚津時代もそうだったが、ここでも内職を通じてどんどん増産を計り、講習会も開いて町の発展のためにも寄与したい。

